

# 令和6年度小鹿野町教育行政重点施策

小鹿野町教育委員会

社会背景や情勢が複雑に関連し合い、変化が急激で将来を見通すことが難しい時代において、誰一人取り残すことのない、多様性と包摂性のある持続可能な社会を維持・発展させていく必要がある。小鹿野町に生活するすべての人に持続可能な社会の創り手として、「自分の良さや可能性を認識する力」「多様な人々を価値のある存在として尊重できる力」「様々な社会的変化や課題を乗り越え、自ら未来を切り拓くことのできる力」が求められている。

小鹿野町では、家庭・地域、学校、行政その他の関係機関・団体の密接な連携のもとに「教育スクラム日本一」を志向する取組を着実に進め、地域に根ざし、地域を拓き、町ぐるみで『確かな「人間力」を身に付け、主体的に学び続ける人材』の育成に取り組んでいく。

学校教育においては、教育の柱を「学力の向上」と「心の教育」として継続して掲げ、すべての児童生徒の個性と人権を尊重し、「確かな学力」「人のためにという態度」「夢(将来展望)と自信(自己肯定感)」を着実に育むための施策を展開していく。

社会教育においては、社会教育における学びを通して、一人一人が生きがいをもって生きるとともに、学びの成果を様々な人と共有しながら地域づくりに主体的に取り組み、町の活性化を目指す施策を展開していく。

施策の実施にあたっては、「次世代」につなげる持続可能性の視点が必要となる。人口減少、少子高齢化を見越しつつ、教育環境改善のために焦点化した施設・設備・人的資源の充実に努めるとともに、現在あるものを最大限に活用することでパフォーマンスを上げる施策を遂行していく。

## 基本目標

かがやく未来へ おがの人づくり

### 目指す子供像

郷土小鹿野に誇りを抱き  
確かな「人間力」を身に付けた子供  
※人間力とは、  
①確かな学力 ②社会性 ③夢に向かう活力 ④心身の健康

### 目指す町民像

一人一人が生涯にわたって主体的に学び続け  
必要な力を養い、互いに支え合う町民

## I 本年度の重点

<学校教育>	<生涯学習>
1 確かな学力の育成	1 ライフステージに合わせた学習機会の提供
2 豊かな心の育成	2 生涯学習推進体制の整備と促進
3 夢に向かう活力の育成	3 生涯スポーツと健康づくりの推進
4 小鹿野ならではの教育の推進	4 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用
5 質の高い教育を行う環境の整備・充実	5 情報提供と学びを支える図書館サービスの推進

## Ⅱ 重点施策と努力点

### <学校教育分野>

#### 1 確かな学力の育成

##### 施策と重点的な取組

- (1) **小鹿野ベース** による授業改善と授業の充実
  - ア 「何をできるようにするか」を明確にし、児童生徒の学びを中心に据えた授業の展開
  - イ 課題設定からまとめ・振り返りまでを見通した授業構造の確立
  - ウ 目標を意識した児童生徒の主体的活動による学び合いを促す教師の働きかけ
- (2) **おがの自学ノート** による主体的な学びの育成
  - ア 子供自身の課題改善に向けた取組や興味・関心に基づく深い学びの定着
  - イ 教師・保護者との連携を図った確実な見届けと励ましの充実
  - ウ 段階的・発展的な9年間の取組を通して主体的に学習に取り組む態度や習慣の修得
- (3) **学校組織体制** の工夫・改善
  - ア 専門性を活かし、互いに補完し学び合える職員体制(校風)の確立(協働性の向上・教科担任制の推進)
  - イ 効率的な業務進行による教師が子供たちと向き合う時間の確保
  - ウ 教員の学級経営・授業力の向上を図る研修の充実  
(特別支援教育の充実、hyper-QUの活用、若手教員の育成、ICT教育研修会、小中が連携した研修)

#### 2 豊かな心の育成

##### 施策と重点的な取組

- (1) **新たな伝統** の創造
  - ア 自治的・自立的態度を育成する教育活動・生徒指導の充実
  - イ 児童生徒と地域・家庭の協働を生かした学校行事の創造
  - ウ 小中連携及び4小学校間の交流授業・事業の促進
- (2) **ほっとハートキャンペーン** の推進
  - ア 仲間のよさを見出し、認め合い支え合える態度の育成
  - イ 特別の教科道徳の趣旨を踏まえた道徳教育の充実
  - ウ いじめや差別を許さない態度を育成する人権教育の推進
- (3) **健康** の保持・増進
  - ア 生涯にわたって運動に親しむ資質・能力の育成
  - イ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための食育の充実(栄養教諭の効果的な活用)
  - ウ 地域食材の積極的な活用と食物アレルギーへの対応

#### 3 夢に向かう活力の育成

##### 施策と重点的な取組

- (1) **夢育成プロジェクト** の推進
  - ア 社会的関係に気づき、自分や周囲の人を大切に作る心の醸成(立志式、1/2成人式、卒業に思う、青年の主張)
  - イ 自分が成長する実感を児童生徒自身に持たせる工夫(志ファイル~キャリアパスポート~の活用)
  - ウ 言語感覚を磨き、先人の言葉を生き方の指針とする機会の充実(おがのことだま百選の有効活用)
- (2) **ハートコンタクトプログラム** の推進
  - ア 社会体験チャレンジ事業や地域と連携したボランティア体験活動の推進
  - イ 地域活動への参加の促進(歌舞伎をはじめとする郷土芸能、環境整備活動等)
  - ウ 家族や地域との関わりを通じた社会とのつながりの深化

### (3) 海外交流事業 の計画的・継続的な推進

- ア 日本や小鹿野町の魅力を海外に発信できる児童生徒の育成
- イ 外国語学習の成果を最大限に活用できるコミュニケーション能力の育成(手紙・オンライン交流)
- ウ 異なる言語や文化への理解を深めようとするグローバルな視点の獲得(姉妹校との交流)

## 4 小鹿野ならではの教育の推進

### 施策と重点的な取組

#### (1) ファミリー5ヶ条(おがの家庭教育宣言)の促進

- ア 学校・家庭・地域の間での育てたい子供像の共有
- イ 望ましい習慣形成に向けた家庭・地域が連携した取組の徹底
- ウ 学校支援から協働へ当事者意識を持ったPTA活動の活性化

#### (2) 小鹿野未来塾の充実

- ア 子供たちの主体的な学びを支援する学習機会の提供
- イ 地域の教育力を結集した教育スクラム体制の有効活用と親子共学の気運の醸成
- ウ 小中学生の英語検定・漢字検定への積極的な挑戦の奨励(中学校卒業時英検3級4割合格を目指す意識の高揚)

#### (3) 小鹿野ふるさと学習の発展・進化

- ア SDGsの視点による小中を通じた総合的な学習の時間の充実
- イ 地域資源を活用した地域学習や体験活動、子供が主体的に関わる伝統文化の継承
- ウ 持続可能な地域づくりを支える一員としての自覚と主体的に参画する態度の育成

## 5 質の高い教育を行う環境の整備・充実

### 施策と重点的な取組

#### (1) 未来へつなぐ望ましい教育環境整備の促進

- ア 期待と希望をかなえる小学校統合に向けた準備の円滑な推進
- イ 学校及び地域が一体となって学校運営の改善に取り組む学校運営協議会の充実
- ウ 児童生徒の学びを支援する適切な指導体制の充実(協働学習や教科担任制、おがの輝きスクール等)

#### (2) 幼児教育から小学校教育への円滑な接続に向けた教育・保育環境の構築

- ア 教育・保育分野と連携しつつ、それぞれの役割を十分に発揮できる指導体制の確立
- イ 就学前の幼児の支援に向けた小学校との連携と円滑な接続を図る教育・保育の推進
- ウ 幼児教育と小学校教育への接続期プログラムの充実

#### (3) 小鹿野高校との連携による地域教育の発展

- ア 体験授業や高校生と児童生徒との交流による高校における学びの体験
- イ 小鹿野未来塾事業への協力による地域教育における連携

#### (4) ICT機器の活用による教育環境整備の充実

- ア GIGAスクール環境整備の充実(次期タブレット端末更新準備、教室用大型ディスプレイの整備検討)
- イ タブレット端末を用いた個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ウ タブレット端末の家庭での積極的活用の推進
- エ ICT環境を活用した効果的な学習指導・学校運営の研究及び成果の共有

## <生涯学習分野>

### 1 ライフステージに合わせた学習機会の提供

#### 施策と重点的な取組

##### (1) 生涯教育の推進

- ア 多様化したライフスタイルなど現代社会に対応する学習機会の提供と拡充
- イ 自己研鑽やキャリアアップにつながる事業の推進
- ウ 新たなチャレンジや生きがい、健康増進につながる事業の推進

##### (2) 家庭教育・成人教育の推進

- ア 保護者及び家族を対象とした家庭教育や成人教育に関する講演会等の開催
- イ 親子及び家族を対象とした、絆づくりをねらいとした事業の開催
- ウ 地域の担い手として活躍できる講座、教室の開催

##### (3) 人権教育・啓発の推進

- ア 児童生徒や行政区を対象とした訪問講座の開催（人権を考える集い・地区別人権学習会）
- イ 人権教育講演会の開催
- ウ 教員等指導者のスキルアップにつながる事業の推進

### 2 生涯学習推進体制の整備と促進

#### 施策と重点的な取組

##### (1) 学習機会の創出

- ア 生涯学習関連施設や文化団体連合会をはじめとする団体との連携強化
- イ 町民や企業等の団体などと専門職員や地域おこし協力隊が協働した生涯学習事業の展開
- ウ 各種講座、教室の開催及び発表の場の提供

##### (2) 人材の確保

- ア 小鹿野文化団体連合会、公民館クラブの活動支援
- イ 講師として専門的な知識・技術を有する人材の情報収集及び提供

##### (3) 生涯学習施設の維持管理と活用

- ア 生涯学習施設の適正な維持管理と魅力化の実施
- イ 老朽化した施設の統廃合や整備の推進
- ウ 施設として適正な規模の確保並びに配置と施設の有効活用

### 3 生涯スポーツと健康づくりの推進

#### 施策と重点的な取組

##### (1) 社会体育施設の維持管理・有効活用

- ア 各スポーツ施設の適正な維持管理
- イ 生涯スポーツ活動の充実に向けた環境整備
- ウ 施設の有効活用が図れるよう、町内宿泊施設との連携を推進

##### (2) 団体・クラブの指導者の育成

- ア 小鹿野町スポーツ協会、小鹿野町スポーツ少年団の活動支援
- イ スポーツ推進委員の充実
- ウ 生涯スポーツの普及に携わる指導者の育成と地域おこし協力隊による活性化を推進

##### (3) スポーツ活動の場と機会の充実

- ア 各種スポーツ教室の開催
- イ 各種町民スポーツ大会、小鹿野ロードレース大会の開催
- ウ 小鹿野町スポーツ推進委員会、小鹿野町スポーツ協会等との協働推進

## 4 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用

### 施策と重点的な取組

#### (1) 文化財保護と活用 の推進

- ア 文化財の保護と活用の推進(保存・継承のための情報発信)
- イ 文化財展示施設の整備の推進
- ウ 指定文化財の計画的な保存修理の推進

#### (2) 伝統文化の 伝承後継者 の育成

- ア 伝統文化の育成と活動の推進（歌舞伎、郷土芸能祭・子ども郷土芸能士の認定）
- イ 地域の特色ある食文化継承活動の推進

#### (3) 文化芸術活動の充実

- ア 文芸活動の一環としての創作活動の活性化（文芸おがの発行）
- イ 文化活動の成果を発表できる場や機会の充実（小鹿野文化祭・ふる絵文化展）
- ウ 文化団体の育成と文化活動の促進（小鹿野美術展）

## 5 情報提供と学びを支える図書館サービスの推進

### 施策と重点的な取組

#### (1) 生涯学習支援サービスの推進

- ア 課題解決支援サービスの推進
- イ 社会活動に役立つ資料の充実
- ウ レファレンスサービスの充実と人材育成

#### (2) 情報提供サービスの充実

- ア 地域資料等の収集・保存とデジタル化の検討
- イ 電子図書館のPRと利用促進
- ウ まちづくりを支える情報の提供

#### (3) 子供読書活動の推進

- ア 読む力、調べ考える力を育む支援活動の推進
- イ 心を育てる読書活動の推進
- ウ 図書館を使った調べる学習コンクール及び読書感想画コンクールの開催